

京都経済センターを舞台に 知恵産業の花ひらくまちへ



会頭 立石 義雄

オムロン 株式会社
名誉顧問

「謹んで新年のごあいさつを申し上げます。」

会頭就任以来、「『知恵産業のまち・京都』の推進」を基本方針として、知恵産業の創出と集積に取り組んで参りました。それが行政や他の産業支援機関にも広がり、今ではオール京都の取組となりました。その象徴となるのが、昨年3月にランドオープンを迎えた「京都経済センター」です。京都経済の未来を拓く拠点として、さまざまな「連携と協働」が、京都経済センターを舞台に本格的に始動しています。

こうした知恵産業創造の取組を次代につなげていくため、昨年11月に「京商

ビジョン FUTURE」を策定しました。「未来につなぐ知恵産業の創造」をテーマに、京都経済センターを基盤として、集積した知恵をさらに開花させ、新たな価値創造を目指していくものです。このビジョンを効果的に推進するために、(二社) 京都知恵産業創造の森や京都経済センターの入居団体、京都府・京都市や文化庁等との「連携と協働」を強化し、「知恵産業のまち・京都」をさらに力強く推し進めて参ります。本年の干支は「庚子^{かえね}」。「庚」の字は同音の「更」につながり、成長した植物が新たな形に変化しようとする状態、「子」は種子の中に新しい生命が兆しは

じめる状態を指しているといえます。これまで集積されてきた知恵を、京都経済センターという舞台でさらに花開かせるため、2021年度中に実現する文化庁の京都移転や、2025年の大阪・関西万博などを見据えながら、令和の新時代へ向けて「明日への行動」を合言葉に、さらに飛躍する一年になることを期待しています。本年が皆さまにとって、実りある年となることを祈念いたしますとともに、本所活動への一層の参画をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

京都の未来に向けて



副会長
塚本 能交
株式会社ワコールホールディングス
代表取締役会長

謹んで令和初の新春のご祝詞を申し上げます。
昨年10月に施行された消費増税・軽減税率の導入、特にキャッシュレス・消費者還元事業による影響は、消費者にも事業主にも大きな変化をもたらしました。利便性向上で消費マインドの向上が期待できる反面、税法の解釈やシステムの導入に時間とコストがかかり、増税直後は少なからず消費が冷え込みました。方や日本中を熱くしてくれたのが、ラグビー日本代表の活躍です。「ONE TEAM」となり戦い抜いたその姿に、観る人を勇気づける力を感じました。

本年3月末の議員総会を経て、次期京都商工会議所会頭の任を拝命することとなりました。長く京都経済の発展にご尽力された立石会頭の後任となることは大変名誉なことでありながら、重責とも感じております。そのご功績を継ぎ、京都の皆様と「ONE TEAM」となり、京都経済の更なる発展に向け尽力する所存です。

独自の産業文化をつくることを得意とする「知恵産業のまち・京都」を外に広めるところに「未来」があります。本年もどうぞよろしく願っています。

アジアの一員である日本、京都の対応は？



副会長
堀場 厚
株式会社堀場製作所
代表取締役会長兼グループCEO

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
ここ数年はまさにアジアの時代に入ったと感じます。昨今の国際情勢で話題になるのは中国、インドを中心とした経済的、或いは地政学的な問題でしょう。

グローバル展開に長けた京都企業も中国、インドを中心とするアジア市場に力を集中しています。京都の街もインバウンド観光客の増加に伴い、否応なしにアジアを中心とする外国人観光客がもたらす正負両面の課題に直面しています。

京都人は京都の伝統と文化を大切に、誇りを持つていますが、海外に起因する課題に対処するには相手に対する理解を深めることが大事です。一口にアジアと言ってもその文化、歴史は千差万別、中国やインドのような大国では一国の中でも大きな違いがあります。

私たちは欧米文化への理解は深めてきましたがアジア各国の文化はまだよく知らないと思います。歴史と文化を学び、その特質を深く理解しないと対応を誤るかもしれません。

新年を迎えて、改めて勉強の必要性を感じているところです。

未来に向かって進化する



副会長
山口 悟郎
京セラ株式会社
代表取締役会長

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は米中貿易摩擦をはじめ、中国の景気減速、英国のEU離脱問題など、広範な地域、産業に影響を与える事象が多く発生しました。一方で、電子デバイス分野ではAIやIoTのさらなる進展、本年より本格化する「5G」関連部品や設備の需要拡大が見込まれており、今後、東京オリンピックを迎える中で、日本全体が活況を呈することが期待されます。

時代の転換期においては、古い価値観や枠組みにとらわれることなく、未来に向かって自由な発想で事業を展開することが必要です。長い歴史の中で、独自の知恵を生かしながら多様な産業や文化を創造してきた京都には、時代環境に合わせて自らを進化させる力が備わっています。

そのような活力あふれる京都において、多くの企業が高付加価値のビジネス・産業を生み出していけるよう、本年も微力ながら、副会長として尽力してまいります。ご支援、ご協力をよろしく願ひ申し上げます。

知恵の連携で 新たな価値の創造を



副会頭
村田 恒夫
株式会社村田製作所
代表取締役会長兼社長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

ここ数年の経営環境の変化は、驚異的なスピードで進行してきました。とりわけ技術革新の進展は目覚ましく、5G、IoT、AI、ロボット工学などに代表される新しいテクノロジーの影響は、企業経営のみならず日常生活までも大きく変化させてきました。次々と登場する新興の技術革新が「第四次産業革命」と称されてから数年が経過しましたが、新しい技術が多くのビジネスの仕組みに大きな影響を及ぼし、新たなニーズやマーケットを生み出した反面、倫理面での問題を惹起している側面もあります。皆が知恵を出し合いながら、変化に対応していくことがますます重要になっています。

京都には昔から変化を柔軟に取り込み、古き良きものと新しいものを融合させてきた強みがあります。新しい技術を活用するとともに、地域や業界の枠を超えた知恵の連携が新たな価値を創造していく、そのような一年となることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和の幕開けとともに



副会頭
土井 伸宏
株式会社京都銀行
代表取締役頭取

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

未来への期待の高まりとともに令和の新時代の幕が開けましたが、平成から持ち越された課題も少なくありません。高齢化が進み人口が減少する社会は、低成長経済の定着を通じて、既存の枠組みの機能劣化をもたらし、パラダイム転換を迫っているように映ります。

いま産業界に期待されるのは、新たな価値創造やビジネスを通じた社会の課題解決によって、自らの成長を促進すると同時に、持続可能な社会の形成にも貢献することです。「知恵産業のまち・京都の推進」の旗印のもとで取り組む、先端技術や新たな発想によるイノベーションの創発は、京都経済の持続的発展とそこに住まう人々の暮らしの向上につながると思っています。

京都の未来を夢のあるものにすべく、副会頭として尽力してまいりますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様と共に 可能性をひらく京商を目指して



専務理事
兒島 宏尚

新年を迎えるに当たり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年3月に京都経済百年の計として「京都経済センター」が始動いたしました。

オール京都の産業振興の機能が一箇所に集うことにより、それぞれの強みを活かしながら、互いが連携することで、更に大きな力を生み出していくことができ、一層の躍進が期待されます。

本所では、「連携と協働」によるイノベーションの拠点である京都経済センターにおいて、会員ニーズを踏まえたサービスの充実と経営支援の強化、人材育成支援などに積極的に取り組み、部会をはじめとする会員参画型の事業を通じて、皆様と共に可能性をひらく「京商」を目指してまいります。

皆様方の一層のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

小売商業部会



部会長
川勝 康行
株式会社川勝總本家
代表取締役社長

令和という新しい時代と干支の始まりを迎え、「部会員のために」をモットーに、役員議員一体となって皆様が楽しく参加頂けるような事業を企画してまいりますと考えておりますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

卸売商業部会



部会長
内田 隆
京都青果合同株式会社
代表取締役社長

前池本部会長の築いてこられた強固な礎の元、部会員間の交流を深める様な新しい試みを加え、他の議員の方々と共に部会活動の活性化に努めて参ります。京商ビジョンFUTUREを意識し、卸売業と言う立場だからこそできる事に取り組んで参ります。

繊維・染織部会



部会長
服部 正毅
服部織物株式会社
代表取締役社長

本年は東京オリンピック、パラリンピックという大イベントを控えており、これに向けて日本の伝統的な衣服を活性化させ、特に地場産業である和装の復活をめざし新規顧客の創成に目標をたてて進んでいきたいと思っております。

電機・機械金属部会



部会長
垣内 永次
株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役会長

デジタルトランスフォーメーション(DX)は、電機・機械金属部会に属する各企業にとっては大きなビジネスチャンスです。自らの強みをさらに磨き、新しい技術を取り込み、DX時代の到来を企業の成長フェーズにしていきましょう。

建設産業部会



部会長
岡野 益巳
株式会社岡野組
代表取締役社長

近年、全国的に激甚災害が多発しています。今後も府民、市民の安心・安全を守り、社会貢献すると共に、20年、30年先の京都の将来構想にも積極的に参画したいと思います。

食品・名産部会



部会長
石原 義清
株式会社俵屋吉富
代表取締役社長

京都の「食」と「名産」を担う私たちの部会は、伝統を踏まえながらも常に新しい発見や変わらぬ感動をお届けできる事業に取り組んでいます。国内外から来られる多くの皆様に美味しいや素敵を伝えてまいります。

化学部会



部会長
大柳 雅利
第一工業製薬株式会社
相談役

化学の連鎖を通じて部会員同志の結束を強め、「干支のねずみ」のように未来を予見する知恵を働かせ、絶対になくってはならない化学素材をベースにサステナブルな環境、社会の発展に貢献するよう頑張ります。

生活産業製造部会



部会長
鈴木 順也
NISHHA株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者

過去から蓄積された資産に安住することなく、新規性や多様性に寛容な風土のもと、新たなビジネスや産業クラスターを創出し、グローバルかつサステナブルな京都を築いていきましょう。

観光・運輸部会



部会長
田中 誠二
株式会社キャリエンターテインショナル
代表取締役社長

都市は、成長するたびに新たな魅力と課題を生み出します。京都が、世界の中で輝く都市であり続けるために、産・学・公・市民が連携し、多様なつながりと交流を通じたオール京都体制で、観光振興と観光問題に取り組んでまいります。

金融部会



部会長
白波瀬 誠
京都中央信用金庫
理事長

令和の新時代を迎え、伝統と革新が共存するこの伝統都市『京都』の、より魅力ある「価値創造都市」としての発展に貢献出来るよう、本年も金融部会として一丸となり邁進していく所存であります。

文化・情報部会



部会長
納屋 嘉人
株式会社淡交社
代表取締役社長

観光客の増加などにより京都が注目されるにつれ「文化」が益々キーワードになっております。そのような中で、部会員が一つになり注目を動力にして京都の発展に尽力して参ります。

サービス産業部会



部会長
齋藤 茂
株式会社トーセ
代表取締役会長兼CEO

サービス産業部会は、異業種の企業が多く、「情報の共有化」をテーマに勉強をしてみました。税制・文化の面から、最近ではLINEやUberなど生活に入り込んでいるITの話題を取り込み好評でした。これからも積極的に話題提供してまいります。